

総合政策部 総合政策課

1 「米子市まちづくりビジョン」基本計画における中間改訂及び取組の進捗状況

令和2年3月に策定した「米子市まちづくりビジョン」基本計画について中間改訂を行うとともに、令和3年度の取組に係る効果検証を行った。

(1) 「米子市まちづくりビジョン」基本計画（令和2年度～令和6年度）の中間改訂

ア 中間改訂における主な追加項目

- ・米子市DX推進計画（令和4年3月策定）に基づく市民の利便性向上と業務の効率化
- ・就業者及び離職者の学び直しによる職業能力の向上
- ・脱炭素社会の実現を目指した取組

イ 改定日

令和4年12月13日

(2) 「米子市まちづくりビジョン」基本計画の進捗状況

まちづくりの基本目標(基本方向数)	総合評価			
	S	A	B	C
1 交通基盤の充実と人が集うまちづくり(5)	-	3	2	-
2 市民が主役・共生のまちづくり(10)	-	4	6	-
3 教育・子育てのまちづくり(7)	-	4	3	-
4 地産外商・所得向上のまちづくり(13)	-	4	9	-
5 歴史と文化に根ざしたまちづくり(3)	-	1	2	-
6 スポーツ健康まちづくり(4)	-	-	4	-
7 災害に強いまちづくり(8)	-	5	3	-
合計(50)	0	21	29	0

【総合評価の考え方】

・実施状況の評価は、各担当課の自己評価。総合評価は、各まちづくりの基本方向の主な取組項目の総数に対する実施状況評価の数に応じて、以下のとおり評価したもの。

※ $X = \frac{\text{実施状況評価の A の数} \times 5 \text{ポイント(P)} + \text{B の数} \times 3 \text{P} + \text{C の数} \times 0 \text{P}}{\text{主な取組項目の総数} \times 5 \text{P}}$

〈総合評価 S〉 X の値が 100% であり、かつ数値目標を達成しているもの

〈総合評価 A〉 X の値が 80%以上

〈総合評価 B〉 X の値が 50%以上、80%未満

〈総合評価 C〉 X の値が 50%未満

(3) 本市の地方創生の取組に係る数値目標

ア 基本目標に係る数値目標の進捗状況

- 新規雇用創出数《累計》・・・令和6年（2024年）までに、3,000人以上
- ⇒令和3年度：242人

■人口の社会増減《年間》・・・令和6年（2024年）において、転出入の均衡

⇒令和3年度：プラス7人

■出生数《年間》・・・令和6年（2024年）において、1,400人以上

⇒令和3年度：1,173人

■中海・宍道湖・大山圏域人口・・・令和6年（2024年）において、60万人以上

⇒令和3年度：640,132人

イ 米子市地方創生推進本部幹事会会議・米子市地方創生推進本部会議の開催

総合戦略の効果検証に当たり、施策等を検討・協議する場として、各会議を開催した。

(ア) 米子市地方創生推進本部幹事会会議

開催日 令和4年10月6日

(イ) 米子市地方創生推進本部会議

開催日 令和4年10月26日

ウ 米子市地方創生有識者会議の開催

総合戦略の効果検証に当たり、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアの各分野において専門的知見を持つ有識者から意見を聴取するため、米子市地方創生有識者会議を開催した。

開催日 令和4年11月17日

2 米子市住んで楽しいまちづくり戦略本部会議

米子市住んで楽しいまちづくり戦略本部の中に政策企画会議を設置し、部局の重点課題（部局横断事項含む。）、当初予算及び補正予算に係る新規事業等の評価について随時会議を開催し、進行管理等を行った。

(1) 政策企画会議の開催

日 程	議 事
令和4年4月11日	・令和4年度部局の重点課題について
令和4年4月18日	・令和4年度部局の重点課題について ・令和3年度部局の重点課題の取組状況
令和4年4月20日	・令和4年度部局の重点課題について ・令和3年度部局の重点課題の取組状況
令和4年4月25日	・令和4年度部局の重点課題について ・令和3年度部局の重点課題の取組状況
令和4年4月27日	・令和4年度部局の重点課題について ・令和3年度部局の重点課題の取組状況
令和4年5月30日	・部局の重点課題（部局横断事項）について
令和4年6月6日	・令和4年度7月補正予算新規事業について
令和4年6月20日	・令和4年度7月補正予算新規事業について
令和4年8月4日	・令和4年度9月補正予算新規事業について
令和4年8月22日	・部局の重点課題について
令和4年8月29日	・部局の重点課題について
令和4年10月17日	・令和5年度当初予算 新規・拡大施策事業について

日 程	議 事
令和4年10月18日	・令和5年度当初予算 新規・拡大施策事業について
令和4年10月31日	・部局の重点課題について
令和4年11月14日	・令和5年度当初予算新規・拡大事業について
令和4年11月21日	・令和5年度当初予算新規・拡大事業について
令和5年2月14日	・「歩いて楽しいまちづくり」の推進について ・フレイル対策事業の全市展開について ・デジタル田園都市国家構想総合戦略等について ・施設整備について

3 移住定住推進事業

(1) 相談対応業務

「移住定住相談窓口」及びビデオミーティングシステムZOOMによるオンライン相談により、専任の相談員がI J Uターンを希望する相談者に対して就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅の紹介等をワンストップサービスで行い、本市に移住を検討している県外在住者への交通費補助の活用と個別ニーズに対応した市内案内を行った。また、移住前後に役立つ地域情報をまとめたリーフレット「ついこのまえ移住を決めた私が米子で暮らすまでに知っておきたいこと」を活用し、移住前後の認識の齟齬の減少に努めた。

相談会については、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構主催のオンライン相談会に加え、3年ぶりに開催された東京・大阪相談会及び大阪で開催された中国四国フェアに参加し、I J Uターン希望者の相談業務を行った。

(2) お試し住宅の運営業務

移住検討者等が米子市での生活を体験するため、3軒（うち1軒 大篠津住宅については令和4年9月30日に廃止）のお試し住宅の運営を行った。

なお、コロナ禍による県のコロナ警報発令により、106日間使用停止をした。

【お試し住宅の利用状況 令和4年4月1日～令和5年3月31日】

お試し住宅の名称	件数 (件)	利用者数 (人)	利用日数 (日)	稼働率 (%)	移住世帯数※ (世帯)	移住者数※ (人)
淀江住宅（淀江町淀江）	7	18	67	26.6%	1	4
駅前住宅（明治町）	2	4	11	4.4%	1	1
大篠津住宅（大篠津町）	1	1	63	54.8%		
合 計	10	23	141	22.8%		

※お試し住宅を利用した者に限る。

※鳥取県版コロナ警報発令前に使用条件を満たした入居者については継続して利用を可能とした。

(3) 情報発信業務

S N S (Facebook・Twitter) 及び米子市メールマガジンで地域情報や県外相談会などの情報発信を行った。また、市ホームページでの移住支援施策及び移住者体験談等の紹介や移住定住ガイドブック「ほわっとよなご」の配布等を通して米子市の魅力を発信した。

(4) 移住定住促進施策について

移住相談者には、県の支援策、ニーズに合った地域情報や就職情報および住まいの情報を提供し、綿密な相談体制を構築した。

移住者には、移住した地域の情報や定住に向けた情報を提供するなど移住後のフォローアップを行い、定住促進に努めた。

(5) 移住者支援を目的とする組織との連携

移住者支援団体「ほわっとよなご応援隊」と連携し、移住者交流会の情報について市ホームページで周知するとともに、同交流会に参加し、移住者の相互交流を通して移住定住の促進を図った。

- ・開催回数 年4回
- ・参加人数 のべ 56名

(6) 移住者数等実績

- ・移住相談件数 260件
- ・県外からの移住者数 361人

(7) ビジネス人材確保推進事業

米子市内における移住・定住の促進、中小企業等における人手不足の解消及び地域課題に対応した起業の促進に資するため、鳥取県と共同して、東京23区（在住者又は通勤者）から移住する就職者及び起業者に対して、移住支援金を交付した。

- ・利用件数 6件

4 行政評価の実施

(1) 事務事業評価（新規事業等）

令和4年度7月補正、9月補正から行う予定の事務事業のうち新規事業（ただし、新規の公共事業を除く。）と継続事業のうち制度の見直し等による実施内容の変更に伴い、大幅な事業費の増が見込まれる事務事業を評価対象とし、政策企画会議において評価を行った。

また、令和4年度当初予算においては、新規事業等について早い段階から政策的な視点で検討・調整に着手するため、事業検討の段階で部局ごとに施策・事業一覧を頭出しとして一連の評価を行い、予算要求時期に再度詳細について評価を実施した。

ア 補正予算分事務事業評価

令和4年度7月補正分・・・15件

令和4年度9月補正分・・・4件

イ 当初予算分事務事業評価

(ア) 令和5年度当初予算分新規事業一覧【全部局】評価及び令和5年度以降の主な動き一覧【全部局】確認

(イ) 令和5年度当初予算分・・・71件

5 関係人口の創出・拡大の促進

本市にルーツがある県外居住者やふるさと納税の寄附者等、広く本市に関わりがある方に対して継続的に情報発信等のアプローチをすることで、関係人口の創出・拡大・濃密化を図った。

(1) 米子ヨネギーズクラブの運営

将来的な定住人口や交流人口の拡大をめざし、本市の関係人口の創出・拡大を図る取組みとして、米子市のファンクラブである「米子ヨネギーズクラブ」を運営。

- ・登録者数 670名（令和5年3月末日現在）

(2) 同窓会及び県人会等の情報発信等

鳥取県人会等において、本市の情報発信等を行った。

第 42 回在岡山鳥取県人会記念総会・懇親会

開催日 令和 4 年 5 月 20 日

東京鳥取県人会「令和 4 年総会と懇親の集い」

開催日 令和 4 年 11 月 23 日

6 婚活サポート事業

中海・宍道湖・大山圏域の構成市町村等で組織する「出会いの場づくり事業実行委員会」において、婚活に向けた出会いの場の創出を図る事業「恋するバス婚からの再開 Party in 島根・鳥取」を開催し、延べ 99 名が参加した。※計 19 組カップリング成功

7 鳥取大学医学部との連携の強化

安心・安全なまちづくりの一翼を担う鳥取大学医学部及び同附属病院と各階層・各分野で引き続き連携し、講演会の開催、共同事業、委員委嘱等を実施することにより、医療に関する専門的な知見を市政に反映するとともに、医療に関する市民への啓発を行った。特に、鳥取大学医学部附属病院とは、新病院建設と連動したまちづくりを推進する観点から、「新鳥大病院建設推進委員会」への参画などにより、連携の強化を図った。

また、庁内の各関係部署とスムーズな連絡調整を行い、各事業の円滑な実施に努めた。

(1) 講演会「働く女性のヘルスケア～誰もが輝ける米子市を目指して～」の開催

開催日 令和 5 年 3 月 26 日

(2) 庁内各部署の鳥取大学医学部との連携状況

24 課 56 事業

8 中海・宍道湖・大山圏域市長会関係

構成員として次の取組に参画した。

(1) 総会、幹事会の出席

ア 総会 (3 回)

第 1 回 令和 4 年 8 月 5 日

第 2 回 令和 5 年 3 月 10 日

第 3 回 令和 5 年 3 月 25 日 (書面会議)

イ 幹事会 (3 回)

第 1 回 令和 4 年 7 月 12 日

第 2 回 令和 4 年 11 月 24 日

第 3 回 令和 5 年 1 月 27 日

(2) 連携事業

ア 活力にあふれる圏域づくり (産業振興)

(ア) 圏域企業の産業連携支援事業

(イ) 圏域内企業の海外展開支援事業

(ウ) 山陰いいものマルシェプロジェクト

イ 訪ねてみたい圏域づくり (観光振興) ※協定に基づき (一社) 圏域観光局が実施

(ア) 外国人誘客対策事業

(イ) 国内誘客対策事業

- (ウ) 圏域観光の魅力アップ事業
- ウ 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）
 - (ア) 自然環境の保全・活用事業
 - (イ) 安心して暮らすことのできる環境づくり事業
- エ ともに歩む圏域づくり（連携と協働）
 - (ア) 圏域情報の共有・発信
 - (イ) 圏域内の連携・交流推進

9 鳥取県西部地域振興協議会

構成員として次の取組に参画した。

(1) 協議会・幹事会・連絡会の開催

- ア 協議会の開催（1回）
 - 令和4年5月20日（書面会議）
- イ 幹事会の開催（2回）
 - 第1回 令和4年5月13日
 - 第2回 令和4年11月2日
- ウ 連絡会議の開催（3回）
 - 第1回 令和4年4月13日
 - 第2回 令和4年8月12日
 - 第3回 令和4年10月6日

(2) 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線の4車線化に係る要望の他6件について、次のとおり要望活動を行った。

- ア 令和4年8月10日 国土交通省 道路局長へ要望書提出
- イ 令和4年8月26日 国土交通省 中国地方整備局道路部長へ要望書提出（郵送）
- ウ 令和4年8月2日 国土交通省 倉吉河川国道事務所長へ要望書提出（郵送）
- エ 令和4年8月10日 鳥取県選出国會議員へ要望書提出
- オ 令和4年6月28日 鳥取県知事へ要望活動
 - ・会長（米子市長）が要望書を提出
- カ 令和4年6月23日 鳥取県西部総合事務所長へ要望活動
 - ・会長代理（米子市副市長、米子市都市整備部長）が要望書を提出
- キ 令和4年8月26日 西日本高速道路株式会社 中国支社長へ要望書提出（郵送）

(3) 中国横断自動車道岡山米子線（蒜山ICー境港間）整備促進期成同盟会との協働について

令和4年11月17日 国土交通大臣ほか政務3役、道路局長、地元選出国會議員へ要望書提出（郵送）

(4) 勉強会等の開催

- ア 鳥取県西部総合事務所との意見交換会（令和5年2月14日 オンライン開催）
 - ・西部地域における空き家対策について
 - ・ポストコロナを見据えた新たな動きについて
- イ DXセミナー（中海・宍道湖・大山圏域市長会との共催）
 - (ア) 9月16日 オンライン開催（自治体職員向け）
 - (イ) 10月19日 オンライン開催（企業・事業所・団体向け）

(5) 鳥取県西部地域の発展を促進する事業

ア 企業誘致に関する連携

(ア) 鳥取県西部地域企業立地促進補助金の交付

補助実績 44件 570万円 ※9市町村の合計

イ 移住定住に関する連携

(ア) お試ししゃべり場の開催

令和4年8月19日

(イ) とっとりWEST移住ポータルサイト運営

1.0 定住自立圏構想関係

定住自立圏形成協定に基づき、中海・宍道湖・大山圏域市長会による連携事業等を実施した。

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会による主な連携事業

- ・中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業への支援
- ・環日本海定期貨客船の安定運航に向けた支援
- ・圏域情報発信及び観光振興
- ・災害時の相互応援体制整備
- ・大学等との連携推進
- ・公共交通の利便性向上に向けた取組
- ・合同職員研修
- ・出会いの場づくり事業

(2) その他の事業

- ・圏域住民のスポーツ・文化交流促進
- ・圏域内企業の魅力発信
- ・境港・米子鬼太郎空港の機能強化及び利用促進
- ・環境保全の推進

1.1 鳥取県西部広域行政管理組合

(1) 構成市町村として次の取組に参画した。

ア 関係市町村企画（広域行政）担当課長会議

第1回 令和4年4月14日

第2回 令和4年7月21日（オンライン会議）

第3回 令和4年8月19日（書面会議）

第4回 令和4年10月7日

第5回 令和4年11月29日

第6回 令和4年12月27日

第7回 令和5年1月25日（オンライン会議）

イ 令和5年度当初予算案に係る市町村広域行政担当課長会議

令和4年12月27日

(2) 鳥取県西部広域行政管理組合で実施した主な共同処理事務

ア 不燃物処理施設の管理運営

イ 消防事務に関すること

ウ 病院群輪番制病院に関すること

エ 火葬場（桜の苑）の管理運営

オ 介護、障害認定に係る審査及び判定に関すること

カ し尿処理施設の管理運営

キ ごみ焼却施設の設置及び管理運営に関すること

1.2 国政・県政に対する要望活動

令和5年度国政・県政に対する要望について取りまとめ、要望活動を行った。

(1) 国政に対する要望事項の取りまとめ

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 16 件

公共土木事業関係 山陰道の整備促進について 他 10 件

(2) 県政に対する要望事項の取りまとめ及び要望活動の実施

ア 令和4年6月28日 鳥取県知事 要望活動

米子駅南北自由通路等整備事業に係る財源措置について 他 23 件

公共土木事業関係 東福原樋口線 他 16 件

米子市長が要望書を提出

イ 令和4年6月23日 鳥取県（西部総合事務所） 要望活動

医療的ケア児の就園就学に係る支援体制整備について 他 23 件

公共土木事業関係 東福原樋口線 他 16 件

米子市副市長が要望書を提出

(3) 鳥取県市長会関係

ア 鳥取県市長会

(ア) 第1回 令和4年8月26日 境港市民交流センター

・鳥取県市長会議に提出した国政に対する要望事項

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 11 件

(イ) 第2回 令和5年2月15日 米子市役所

・鳥取県市長会議に提出した国政に対する要望事項

学校における医療的ケア看護職員配置に係る財政措置の拡充について 他 6 件

イ 中国市長会

・中国市長会春季総会及び役員会 令和4年5月10日

・中国市長会秋季役員会 令和4年10月6日

ウ 全国市長会

・全国市長会理事会 令和4年4月13日

・全国市長会理事・評議員合同会議

令和4年5月31日、7月13日、11月17日、令和5年1月25日

・全国市長会が、全国会議員、関係府省等に決議、重点提言（要望事項）と併せて提出

令和4年11月17日

1.3 総合教育会議

市長と教育委員会が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを目的として、重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行う総合教育会議を開催した。

第1回 令和4年8月22日 米子市役所本庁舎4階 402会議室

議題

・コミュニティスクールの取組状況について

・中学校運動部活動の今後のあり方について

第2回 令和5年2月16日 米子市役所本庁舎4階 402会議室

議題

- ・学力向上について
- ・部活動の地域移行について
- ・不登校対策の取組状況について

1.4 ふるさと教育

ふるさと米子に学び、ふるさとへの愛着や誇りをもつ人材の育成を図るため、市内の中学校および高等学校の探求学習に協力し、ふるさとに貢献したいという意識の醸成を図った。

1.5 企業版ふるさと納税

(1) 寄附実績

- ア 寄附件数 6 件
イ 寄附金額 44,200,000 円
ウ 使途別の寄附金額集計

使途	件数 (件)	寄附金額 (円)
未来人材育成コース	2	4,000,000
アクティブ観光魅力 UP コース	1	30,000,000
商工業の活性化応援コース	1	10,000,000
安心安全なまちづくりコース	2	200,000
合計	6	44,200,000

1.6 感染症総合対策

新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症拡大の防止と社会経済活動の維持の両立に配慮した取組を行うため、市民生活の支援や事業者の経済活動の環境整備などへの対策、施策の総合調整並びに市民への情報発信及び啓発等を推進した。

(1) 情報発信

「新型コロナウイルス感染症に関する各種支援策」(全2回)

- ・市民向け及び中小・小規模事業者等向け

(2) 寄附の受領

ア 現金寄附

- ・1件 10,000,000 円

イ 物品寄附

- ・2件 (除菌クリーナー、除菌シートマスク)

(3) 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

国の子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金を活用し、住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円の臨時特別給付金を給付するため、本庁舎1階に窓口を開設した。

- ・令和4年度 支給世帯数 4,329 世帯